

学部にて開かれ「通信工学の特異性について」と題して講演された。通信工学の権威であるだけに学内各教官、学生など多数聴講に出席、熱心に聴き入っていた。

同教授は工学部長、教養部長、工業教員養成所長を歴任、学外では学術会議会員、その他公私機関の役員に就任、電気通信界の興隆に努められ大きな存在である。また当協会の設立当時より理事として協会発展に寄与されている。(写真は当日の熊谷学長)

植松基礎工学部長再任

阪大基礎工学部は2月2日の教授会で、次期学部長に植松時雄現学部長を再選した。任期は4月1日から2年。

木下教授経済学部長に

阪大経済学部は次期学部長に木下和夫教授を選んだ。○
任期は四月一日から二年間。

木下教授は昭和17年、京大経済学部卒業、同23年阪大法文学部助教授、同29年同経済学部教授。専攻は財政学。
◇山口幸五郎教授(甲南大学)法学部商法講座の教授に採用、1月1日付

◇渡辺毅教授(九州大学助教授)理学部数学解析第一講座の教授に昇任、1月1日付

◇吉田博教授配置換、医学部付属高次神経研究施設神経薬理生化学部門より医学部薬理学第一講座の教授に配置換、1月1日付

◇竹之内脩教授配置換、教養部(数学)より基礎工学部制工学科計測学講座の教授に配置換、1月1日付

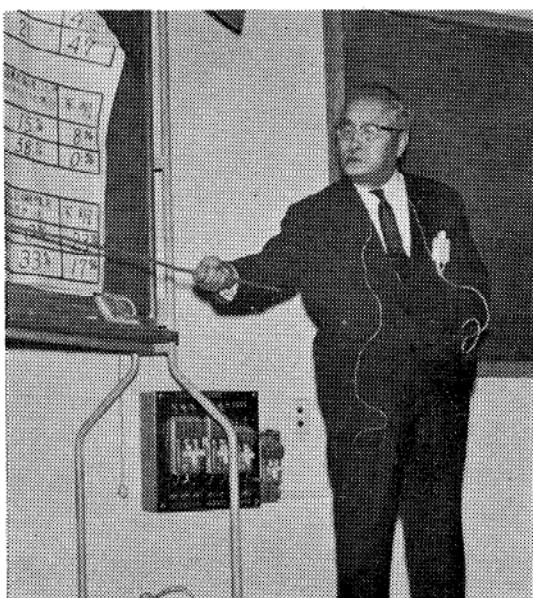
◇須田正巳教授配置換、医学部薬理学第一講座よりたんぱく質研究所たんぱく質代謝部門の教授に配置換、1月1日付

学内ニュース

熊谷教授の記念講演

愛媛大学学長に就任

大阪大学工学部熊谷三郎教授は先般、愛媛大学学長に新任されたが、阪大における最後記念講義が2月8日工



学位授与・工学博士

()

綾木 和雄=阪大工卒、日本電気「ミリ波らせん進行波に関する研究」

栗岡 豊=阪大工卒、通産省工業技術院「自動配光測定装置に関する研究」

小山 菊彦=阪大工卒・阪大助手「有機陽極の反応に関する研究」

長沢弘一郎=阪大工卒、塩野義製薬「ボラジン誘導体と関連化合物についての研究」

堀内 司朗=阪大工卒、阪大助手「シリコンおよびタンタル酸化膜の半導体回路素子への応用に関する研究」(以上昭41.10.3付授与)

角所 収=阪大工卒、阪大助教授「音声パターン認識に関する基礎的研究」(昭41.11.21付授与)